

# On the Scientific Name of Hime-fuyuichigo or Yu-shan Raspberry from Taiwan

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-12-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24517/00056258">https://doi.org/10.24517/00056258</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



- Nat. Ver. Bremen 4: 198 (1874); FOCKE in  
Biblioth. Bot. 17 (Heft 72): 26 (1910) —  
*Rubus triflorus* RICHARDS.  $\beta$  *japonicus*  
MAXIM. in Bull. Acad. Imp. Sci. St. Petersb.  
17: 149 (1872)  
Type: TSCHONOSKI 1864 from Fuji-yama in  
Japan.  
Holotype in LE, not seen. Isotype in B (Fig.  
2), BM, K, & P, v. in hb.  
= *Rubus pseudojaponicus* KOIDZ. in Bot. Mag.  
Tokyo 25: 74 (1911)
- (3) *Rubus japonicus* VEITCH ex LINDL. et PAXT.,  
Flor. Gard. 3: 163 (1853)  
Type: VEITCH, cultivated plant, origin from  
Japan.
- Lectotype (Fig. 3) and isolectotype (Fig. 4) in  
K, v. in hb.  
= *Rubus trifidus* THUNE., Fl. Jap. 217 (1784)
- (4) *Rubus japonicus* MAXIM. ex O. KTZE.,  
Method. Rub. 130, 133, 143, 155, & 156 (1879);  
MATSUMURA in Bot. Mag. Tokyo 15: 155  
(1901); KOIDZUMI in Bot. Mag. Tokyo 25:  
74 (1911); KOIZUMI in Journ. Coll. Sci. Imp.  
Univ. Tokyo 34: 109 (1913); MAKINO,  
MAKINO's New Illustr. Fl. Jap. 263 (1965)  
Type: ? specimen from Japan in LE, not  
seen.  
= *Rubus ikenoensis* LÉVL. et VANT. in Bull.  
Soc. Bot. Fr. 53: 549 (1906)

(Received Apr. 10, 1984)

## 鳴橋直弘：台湾のヒメフユイチゴの学名

Naohiro NARUHASHI: On the Scientific Name of Hime-fuyuichigo or  
Yü-shan Raspberry from Taiwan

台湾の玉山（旧名新高山）をはじめ中央山脈の高所に分布し、イギリスではよく庭園に植栽され、我が国でも近年カバープランツとして栽培されているヒメフユイチゴ別名ニイタカイチゴは *Rubus calycinoides* HAYATA として日本、台湾、英国で知られている。

明治 42 年 12 月に中央山脈で森丑之助と加藤宗三によって採集された標本に早田文蔵は *Rubus calycinoides* の名前をつけた。その発表は *Icones Plantarum Formosanarum* 3 卷 88 頁 1913 年である。

一方小泉源一は台湾を含む旧日本産のバラ科植物をまとめたとき、*R. calycinoides* HAYATA は未発表であった。彼はそれに記載をつけ、東京帝國大学理科学院紀要 34 卷 154 頁に発表したのは 1913 年であった。

学名には先取権があり、より早い有効名が正名となる。正確な出版の月日は不明であるが、我々はその出版物に記された年月日に頼るしかない。

小泉の発表は紀要の表紙から 1913 年 10 月 28 日である。早田の方は、その学名発表のある論文の序文では 1913 年 3 月 31 日に、Kakichi UCHIDA のことばは同年 4 月 1 日となっているが、その本の表紙に 1913 年 12 月 25 日と記されている。Taxonomic Literature 2 卷 108 頁にも、早田の *Icones Plantarum Formosanarum* 3 卷 1-222 頁は 1913 年 12 月 25 日となっている。

以上のことから、ヒメフユイチゴ（ニイタカイチゴ）の学名は、約 2 ヶ月早い小泉のものとなり、*R. calycinoides* HAYATA ex KOIDZUMI となる。しかし *calycinoides* という種小名（epithet）は、O. KUNTZE が 1879 年にヒマラヤの植物で使用しているので、この名前は変更される必要がある。それで、早田と小泉両先生によってこの植物が世に出たことを記念して、種小名を *Hayata-Koidzumii* とした。

最後に、正基準標本を観察するのに便宜をはかっていただいた東京大学総合研究資料館の大場秀章氏に心より感謝いたします。

*Rubus Hayata-Koidzumii* NARUHASHI, nom. nov.

*R. calycinoides* HAYATA ex KOIDZUMI in Journ. Coll. Sci. Imp. Univ. Tokyo 34: 154, Oct. 28, 1913,  
non OK. 1879. Holotype: Mt. Morrison, U. MORI & S. KATO, Dec. 1909 (TI).

*R. calycinoides* HAYATA, Ic. Pl. Formos. 3: 88, Dec. 25, 1913, non OK. 1879. Holotype: Mt. Morrison, U. MORI & S. KATO, Dec. 1909 (TI).

Jap. name: Hime-fuyuichigo (KOIDZUMI 1913), Niitaka-itigo (KANEHIRA 1936)

Taiw. name: 玉山懸鈎子 (劉 1960)

Eng. name: Yü-shan Raspberry (LIU 1960)